

社会福祉援助技術演習 (SA) § 人間福祉演習III (SA)

12988

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」の履修は必須である。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SC) § 人間福祉演習Ⅲ (SC) § 社会福祉援助技術演習 (SC)

12990

担当者名 / Instructor 井上 公子

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をとおりて社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」の履修は必須である。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SD) § 人間福祉演習III (SD)

12991

担当者名 / Instructor 廣末 利弥

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」の履修は必須である。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SE) § 人間福祉演習III (SE)

12992

担当者名 / Instructor 小川 栄二

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」の履修は必須である。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SF) § 人間福祉演習III (SF)

12993

担当者名 / Instructor 山田 尋志

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動とおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」の履修は必須である。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉士が対応する問題	
第3回	社会福祉士が対応する問題	
第4回	社会福祉士が対応する問題	
第5回	社会福祉士が対応する問題	
第6回	社会福祉士が対応する問題	
第7回	課題解決の方法	
第8回	課題解決の方法	
第9回	課題解決の方法	
第10回	課題解決の方法	
第11回	課題解決の方法	
第12回	社会福祉現場	
第13回	社会福祉現場	
第14回	社会福祉現場	
第15回	ふりかえり	
第16回	授業の概要と導入	
第17回	事例検討(実習報告)	
第18回	事例検討(実習報告)	
第19回	事例検討(実習報告)	
第20回	事例検討(実習報告)	
第21回	事例検討(実習報告)	
第22回	中間報告会	
第23回	中間報告会	
第24回	課題についてのグループプロジェクト	
第25回	課題についてのグループプロジェクト	
第26回	課題についてのグループプロジェクト	
第27回	課題についてのグループプロジェクト	
第28回	課題についてのグループプロジェクト	
第29回	実習総括報告会	
第30回	ふりかえり	
第14回		
第15回		

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的に行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

<u>種別 / Kind</u>	<u>割合 / Percentage</u>	<u>評価基準等 / Grading Criteria etc.</u>
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SG) § 人間福祉演習III (SG)

12994

担当者名 / Instructor 池添 素

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は「社会福祉援助技術実習指導」「社会福祉援助技術実習指導」「社会福祉援助技術現場実習」と連動する。前期では実習の事前学習、後期では実習後の振り返り学習を中心に行う。

到達目標 / Attainment Objectives

〔前期〕

実習先に関する十分な事前学習を行い、実習分野に関する問題状況について十分に理解し、実習分野に関係する社会福祉制度・政策についても十分な理解に到達する。

〔後期〕

社会福祉現場実習によって、社会福祉実践に対する十分な理解を踏まえた我が国の社会福祉制度・政策の問題点や社会福祉問題について、的確な判断ができ、社会福祉に関する高度に専門的な学習を深めるための知見をもつ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。

なお、あわせて「社会福祉援助技術論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	前期	
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉現場についての専門的理解(1)	
第3回	社会福祉現場についての専門的理解(2)	
第4回	社会福祉現場についての専門的理解(3)	
第5回	社会福祉現場についての専門的理解(4)	
第6回	社会福祉現場についての専門的理解(5)	
第7回	課題についてのグループ討議(1)	
第8回	課題についてのグループ討議(2)	
第9回	課題についてのグループ討議(3)	
第10回	課題についてのグループ討議(4)	
第11回	課題についてのグループ討議(5)	
第12回	実習に向けた個別ヒアリング(1)	
第13回	実習に向けた個別ヒアリング(2)	
第14回	実習に向けた個別ヒアリング(3)	
第15回	実習に向けた個別ヒアリング(4)	
	後期	
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告(1)	
第3回	実習報告(2)	
第4回	実習報告(3)	
第5回	実習報告(4)	
第6回	課題についての合同クラス報告(1)	
第7回	課題についての合同クラス報告(2)	
第8回	課題についての合同クラス報告(3)	
第9回	課題についての合同クラス報告(4)	
第10回	実習報告会の事前討議(1)	
第11回	実習報告会の事前討議(2)	
第12回	実習報告会	
第13回	報告書作成(1)	
第14回	報告書作成(2)	
第15回	実習総括討議(シンポジウム開催)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的に行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に討論等の内容をまとめたレポートを作成する。理解の深さ、討論の深さとともに、レポートの客観性や論理性についても評価する。また、質問内容や討論への参加度合も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術演習 (SH) § 人間福祉演習III (SH)

12995

担当者名 / Instructor 櫻谷 真理子

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「社会福祉援助技術実習指導II」「社会福祉援助技術現場実習」と連動して行う。現場実習の事前・事後学習と関連させながら、事例検討やグループ学習、実技指導(ロールプレー等)など多様な演習活動をおして社会福祉士としての知識・技能・倫理の習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 人と環境の相互作用に着目し、生態学的な視点をもって、人々やコミュニティが経験している問題状況や可能性について理解する力をつける。
2. 人、集団、組織、地域社会の問題解決・予防のための方法とプロセス、資源について理解し、基礎的な実践力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」の履修は必須である。また、前期には「社会福祉援助技術現場実習指導II」を後期には「社会福祉援助技術現場実習指導III」を同時に履修することが必要である。さらに、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要と導入	
2	社会福祉士が対応する問題	
3	社会福祉士が対応する問題	
4	社会福祉士が対応する問題	
5	社会福祉士が対応する問題	
6	社会福祉士が対応する問題	
7	課題解決の方法	
8	課題解決の方法	
9	課題解決の方法	
10	課題解決の方法	
11	課題解決の方法	
12	社会福祉現場	
13	社会福祉現場	
14	社会福祉現場	
15	ふりかえり	
16	授業の概要と導入	
17	事例検討(実習報告)	
18	事例検討(実習報告)	
19	事例検討(実習報告)	
20	事例検討(実習報告)	
21	事例検討(実習報告)	
22	中間報告会	
23	中間報告会	
24	課題についてのグループプロジェクト	
25	課題についてのグループプロジェクト	
26	課題についてのグループプロジェクト	
27	課題についてのグループプロジェクト	
28	課題についてのグループプロジェクト	
29	実習総括報告会	
30	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動、レポート、毎週のミニレポートなどを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SA) § 社会福祉援助技術現場実習 (SG)

20334

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

社会福祉援助技術実習指導Ⅰおよび「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を通じて配属された施設・機関において180時間以上の実習を行う。実習は、夏に集中で行うが、実習先の都合等により後期セメスターに行うこともある。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 社会福祉現場での実習を通して、人や地域が直面している個々の問題について具体的に理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 人や地域が直面している社会問題に対処するために社会福祉士として必要な知識、技術、倫理について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SC) § 社会福祉援助技術現場実習 (SC)

20336

担当者名 / Instructor 井上 公子

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」および「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を通じて配属された施設・機関において180時間以上の実習を行う。実習は、夏に集中で行うが、実習先の都合等により後期セメスターに行うこともある。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 社会福祉現場での実習を通して、人や地域が直面している個々の問題について具体的に理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 人や地域が直面している社会問題に対処するために社会福祉士として必要な知識、技術、倫理について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SD)

20337

担当者名 / Instructor 廣末 利弥

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

「社会福祉援助技術実習指導I」および「社会福祉援助技術実習指導II」を通じて配属された施設・機関において180時間以上の実習を行う。実習は、夏に集中で行うが、実習先の都合等により後期セメスターに行くこともある。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 社会福祉現場での実習を通して、人や地域が直面している個々の問題について具体的に理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 人や地域が直面している社会問題に対処するために社会福祉士として必要な知識、技術、倫理について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」「社会福祉援助技術実習指導II」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SE)

20338

担当者名 / Instructor 小川 栄二

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」および「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を通じて配属された施設・機関において180時間以上の実習を行う。実習は、夏に集中で行うが、実習先の都合等により後期セメスターに行うこともある。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 社会福祉現場での実習を通して、人や地域が直面している個々の問題について具体的に理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 人や地域が直面している社会問題に対処するために社会福祉士として必要な知識、技術、倫理について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SF)

20331

担当者名 / Instructor 山田 尋志

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」および「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を通じて配属された施設・機関において180時間以上の実習を行う。実習は、夏に集中で行うが、実習先の都合等により後期セメスターに行うこともある。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 社会福祉現場での実習を通して、人や地域が直面している個々の問題について具体的に理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 人や地域が直面している社会問題に対処するために社会福祉士として必要な知識、技術、倫理について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SG)

20332

担当者名 / Instructor 池添 素

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

「社会福祉援助技術実習指導I」および「社会福祉援助技術実習指導II」を通じて配属された施設・機関において180時間以上の実習を行う。実習は、夏に集中で行うが、実習先の都合等により後期セメスターに行くこともある。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 社会福祉現場での実習を通して、人や地域が直面している個々の問題について具体的に理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 人や地域が直面している社会問題に対処するために社会福祉士として必要な知識、技術、倫理について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導I」「社会福祉援助技術実習指導II」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術現場実習 (SH)

20333

担当者名 / Instructor 櫻谷 真理子

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」および「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」を通じて配属された施設・機関において180時間以上の実習を行う。実習は、夏に集中で行うが、実習先の都合等により後期セメスターに行うこともある。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 社会福祉現場での実習を通して、人や地域が直面している個々の問題について具体的に理解するとともに、それらの社会背景や関連要因について把握し、社会問題としての理解を深める。
2. 人や地域が直面している社会問題に対処するために社会福祉士として必要な知識、技術、倫理について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	社会福祉援助技術現場実習の実践経過と成果によって評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導I (S) § 社会福祉援助技術実習指導I (SG)

12793

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格を取得するために履修しなければならない実習関連科目(「社会福祉援助技術実習指導」(2年次後期)、「社会福祉援助技術現場実習」(3年次前期)、「社会福祉援助技術実習指導」(3年次前期)、「社会福祉援助技術実習指導」(3年次後期)、「社会福祉援助技術演習・人間福祉演習」(3年次通年))のひとつとして、社会福祉現場とその利用者についての理解を深めることをめざす。同時に、社会福祉援助技術現場実習に向けた問題意識を明確にしつつ、社会福祉現場実習に関する諸課題の整理を行って、現場実習を行う「領域」とともに実習施設、実習機関等を決定する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 社会福祉援助技術現場実習の目的と意義について理解する。
2. 社会福祉援助技術現場実習を履修するための必要な手続きや準備等について理解する。
3. 社会福祉のさまざまな現場についての概要と利用者の状況について理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

社会福祉士課程の必須科目をできるだけ履修することが望ましい。特に、「社会福祉援助技術論」「ソーシャルワーク論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1講	授業の概要と導入	
第2講	社会福祉現場についての基礎的理解	
第3講	社会福祉現場についての基礎的理解	
第4講	社会福祉現場についての基礎的理解	
第5講	社会福祉現場についての基礎的理解	
第6講	社会福祉現場についての基礎的理解	
第7講	課題についてのグループ討議	
第8講	課題についてのグループ討議	
第9講	課題についてのグループ討議	
第10講	実習先の決定方法	
第11講	実習先決定にむけて	
第12講	実習先決定にむけて	
第13講	実習先決定にむけて	
第14講	実習報告会	
第15講	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを課す。レポートでは理解の深さ、客観性、論理性について評価する。また、授業への参加度も評価する。

日常点評価は、ガイダンスや授業への出席、レポート等必要書類の提出をもって厳しく行う。

欠席1回1点、遅刻0.5点、提出なし1点、提出遅れ0.5点で減点を行い、5点以上減点となった場合に不合格となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ソーシャルワーク実習	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SA) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SA)

13052

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「人間福祉演習Ⅲ」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」が効果的に行えるように準備を行う。実習の意義や目的を再確認するとともに、実習計画をたて、実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習施設・機関の機能、役割、体制、現状と課題、利用者とその状況等について事前学習することで、実習中により深く理解できるように準備する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について明確にする。
2. 実習施設・機関に関連する社会福祉制度・政策、関連する社会資源等についての知識をもつ。
3. 実習施設・機関の理念、機能、組織構造、業務内容について理解する。
4. 実習施設・機関の利用者・家族・地域について理解する。
5. 社会福祉士となるために自分に必要なことは何かを理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを課す。レポートでは理解の深さ、客観性、論理性について評価する。また、授業への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SC) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SC)

13054

担当者名 / Instructor 井上 公子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「人間福祉演習Ⅲ」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」が効果的に行えるように準備を行う。実習の意義や目的を再確認するとともに、実習計画をたて、実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習施設・機関の機能、役割、体制、現状と課題、利用者とその状況等について事前学習することで、実習中により深く理解できるように準備する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について明確にする。
2. 実習施設・機関に関連する社会福祉制度・政策、関連する社会資源等についての知識をもつ。
3. 実習施設・機関の理念、機能、組織構造、業務内容について理解する。
4. 実習施設・機関の利用者・家族・地域について理解する。
5. 社会福祉士となるために自分に必要なことは何かを理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを課す。レポートでは理解の深さ、客観性、論理性について評価する。また、授業への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SD) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SD)

13055

担当者名 / Instructor 廣末 利弥

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「人間福祉演習Ⅲ」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」が効果的に行えるように準備を行う。実習の意義や目的を再確認するとともに、実習計画をたて、実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習施設・機関の機能、役割、体制、現状と課題、利用者とその状況等について事前学習することで、実習中により深く理解できるように準備する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について明確にする。
2. 実習施設・機関に関連する社会福祉制度・政策、関連する社会資源等についての知識をもつ。
3. 実習施設・機関の理念、機能、組織構造、業務内容について理解する。
4. 実習施設・機関の利用者・家族・地域について理解する。
5. 社会福祉士となるために自分に必要なことは何かを理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを課す。レポートでは理解の深さ、客観性、論理性について評価する。また、授業への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SE) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SE)

13056

担当者名 / Instructor 小川 栄二

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「人間福祉演習Ⅲ」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」が効果的に行えるように準備を行う。実習の意義や目的を再確認するとともに、実習計画をたて、実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習施設・機関の機能、役割、体制、現状と課題、利用者とその状況等について事前学習することで、実習中により深く理解できるように準備する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について明確にする。
2. 実習施設・機関に関連する社会福祉制度・政策、関連する社会資源等についての知識をもつ。
3. 実習施設・機関の理念、機能、組織構造、業務内容について理解する。
4. 実習施設・機関の利用者・家族・地域について理解する。
5. 社会福祉士となるために自分に必要なことは何かを理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	事前学習	
第3回	事前学習	
第4回	事前学習	
第5回	事前学習	
第6回	事前学習	
第7回	実習計画	
第8回	実習計画	
第9回	実習計画	
第10回	実習懇談会	
第11回	実習計画	
第12回	事前学習	
第13回	実習直前準備	
第14回	実習直前準備	
第15回	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを課す。レポートでは理解の深さ、客観性、論理性について評価する。また、授業への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導II (SF) § 社会福祉援助技術実習指導II (SF)

13057

担当者名 / Instructor 山田 尋志

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は「人間福祉演習」と連動しており、実習に向けた事前学習を行う。実習先の現状や課題、機能、体制などの状況をより詳しく理解し、実習に対するイメージを明確にする。実習先となる社会福祉の現場理解を重視した内容とする。

到達目標 / Attainment Objectives

社会福祉援助技術実習分野に関係する社会福祉制度・政策についての十分な知識を獲得するとともに、実習分野に関する現実的な問題状況についても認識を深め、実習によって十分な成果が得られるための必要な準備を行う。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。また、「社会福祉援助技術論」「社会福祉援助技術論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉現場についての専門的理解(1)	
第3回	社会福祉現場についての専門的理解(2)	
第4回	社会福祉現場についての専門的理解(3)	
第5回	社会福祉現場についての専門的理解(4)	
第6回	社会福祉現場についての専門的理解(5)	
第7回	課題についてのグループ討議(1)	
第8回	課題についてのグループ討議(2)	
第9回	課題についてのグループ討議(3)	
第10回	課題についてのグループ討議(4)	
第11回	課題についてのグループ討議(5)	
第12回	実習に向けた個別ヒアリング(1)	
第13回	実習に向けた個別ヒアリング(2)	
第14回	実習に向けた個別ヒアリング(3)	
第15回	実習に向けた個別ヒアリング(4)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを作成する。理解の深さ、討論の深さとともに、レポートの客観性や論理性についても評価する。また、講義への質問内容や討論への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- ・この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。
- ・4週間の福祉施設・機関・団体における実習の事前学習であるため、毎回必ず出席すること。
- ・実習先の事前学習や訪問学習についても必要に応じて提起するので毎週の演習以外にも時間を工面すること。
- ・出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない場合があるので注意すること。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導II (SG) § 社会福祉援助技術実習指導II (SG)

13058

担当者名 / Instructor 池添 素

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は「人間福祉演習」と連動しており、実習に向けた事前学習を行う。実習先の現状や課題、機能、体制などの状況をより詳しく理解し、実習に対するイメージを明確にする。実習先となる社会福祉の現場理解を重視した内容とする。

到達目標 / Attainment Objectives

社会福祉援助技術実習分野に関係する社会福祉制度・政策についての十分な知識を獲得するとともに、実習分野に関する現実的な問題状況についても認識を深め、実習によって十分な成果が得られるための必要な準備を行う。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。また、「社会福祉援助技術論」「社会福祉援助技術論」の履修が望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	社会福祉現場についての専門的理解(1)	
第3回	社会福祉現場についての専門的理解(2)	
第4回	社会福祉現場についての専門的理解(3)	
第5回	社会福祉現場についての専門的理解(4)	
第6回	社会福祉現場についての専門的理解(5)	
第7回	課題についてのグループ討議(1)	
第8回	課題についてのグループ討議(2)	
第9回	課題についてのグループ討議(3)	
第10回	課題についてのグループ討議(4)	
第11回	課題についてのグループ討議(5)	
第12回	実習に向けた個別ヒアリング(1)	
第13回	実習に向けた個別ヒアリング(2)	
第14回	実習に向けた個別ヒアリング(3)	
第15回	実習に向けた個別ヒアリング(4)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを作成する。理解の深さ、討論の深さとともに、レポートの客観性や論理性についても評価する。また、講義への質問内容や討論への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- ・この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。
- ・4週間の福祉施設・機関・団体における実習の事前学習であるため、毎回必ず出席すること。
- ・実習先の事前学習や訪問学習についても必要に応じて提起するので毎週の演習以外にも時間を工面すること。
- ・出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない場合があるので注意すること。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SH) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ (SH)

13059

担当者名 / Instructor 櫻谷 真理子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「人間福祉演習Ⅲ」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」が効果的に行えるように準備を行う。実習の意義や目的を再確認するとともに、実習計画をたて、実習に積極的に取り組めるようにする。また、実習施設・機関の機能、役割、体制、現状と課題、利用者とその状況等について事前学習することで、実習中により深く理解できるように準備する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 現場実習の意義と目的、あり方について明確にする。
2. 実習施設・機関に関連する社会福祉制度・政策、関連する社会資源等についての知識をもつ。
3. 実習施設・機関の理念、機能、組織構造、業務内容について理解する。
4. 実習施設・機関の利用者・家族・地域について理解する。
5. 社会福祉士となるために自分に必要なことは何かを理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」の履修は必須である。
また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要と導入	
2	事前学習	
3	事前学習	
4	事前学習	
5	事前学習	
6	事前学習	
7	実習計画	
8	実習計画	
9	実習計画	
10	実習懇談会	
11	実習計画	
12	事前学習	
13	実習直前準備	
14	実習直前準備	
15	実習直前準備	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを課す。レポートでは理解の深さ、客観性、論理性について評価する。また、授業への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SA) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SA)

13082

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「人間福祉演習Ⅲ」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」の事後学習を行う。実習体験についてクラスで報告しフィードバックをうけることを通して、利用者や現場の状況、実践のあり方・方法、社会制度や政策との関わり、自らの課題などについて理解を深める。また、実習の目標と計画がどの程度達成できたか、その成果は何か、また今後取り組むことが必要なことは何かを検討する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 実習で関わった分野、施設・機関、人・組織・地域の現状と課題について具体的に述べるができる。
2. 実習先で見聞した課題について、社会福祉士がとるべき具体的・实际的・倫理的な対処方法を述べるができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」「社会福祉援助技術現場実習」の履修は必須である。また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要と導入	
2	実習報告	
3	実習報告	
4	実習報告	
5	実習報告	
6	実習報告	
7	中間報告会	
8	中間報告会	
9	課題についてのグループプロジェクト	
10	課題についてのグループプロジェクト	
11	課題についてのグループプロジェクト	
12	実習報告書	
13	実習報告書	
14	実習総括報告会	
15	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを課す。レポートでは理解の深さ、客観性、論理性について評価する。また、授業への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SC) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SC)

13084

担当者名 / Instructor 井上 公子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は「人間福祉演習」と連動しており、実習の事後学習を基本とする。実習体験をフィードバックし、実習計画や実習課題がいかに達成されたか、これらの課題は何かについて、個別あるいはグループ学習の中で報告・確認していく場とする。また各自の実習を振り返り、社会福祉現場の現状や課題、機能、体制などの状況をより深く理解するとともに、これからの社会福祉及び社会福祉従事者について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives

社会福祉援助技術現場実習についての成果を整理し、社会福祉に関する専門的な学習を深めるための総括をすることができる。社会福祉現場実習によって、社会福祉実践に対する十分な理解を踏まえた我が国の社会福祉制度・政策の問題点や社会福祉問題について、的確な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告(1)	
第3回	実習報告(2)	
第4回	実習報告(3)	
第5回	実習報告(4)	
第6回	課題についての合同クラス報告(1)	
第7回	課題についての合同クラス報告(2)	
第8回	課題についての合同クラス報告(3)	
第9回	課題についての合同クラス報告(4)	
第10回	実習報告会の事前討議(1)	
第11回	実習報告会の事前討議(2)	
第12回	実習報告会	
第13回	報告書作成(1)	
第14回	報告書作成(2)	
第15回	実習総括討議(シンポジウム開催)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを作成する。理解の深さ、討論の深さとともに、レポートの客観性や論理性についても評価する。また、講義への質問内容や討論への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SD) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SD)

13085

担当者名 / Instructor 廣末 利弥

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は「人間福祉演習」と連動しており、実習の事後学習を基本とする。実習体験をフィードバックし、実習計画や実習課題がいかに達成されたか、これらの課題は何かについて、個別あるいはグループ学習の中で報告・確認していく場とする。また各自の実習を振り返り、社会福祉現場の現状や課題、機能、体制などの状況をより深く理解するとともに、これからの社会福祉及び社会福祉従事者について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives

社会福祉援助技術現場実習についての成果を整理し、社会福祉に関する専門的な学習を深めるための総括をすることができる。社会福祉現場実習によって、社会福祉実践に対する十分な理解を踏まえた我が国の社会福祉制度・政策の問題点や社会福祉問題について、的確な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告(1)	
第3回	実習報告(2)	
第4回	実習報告(3)	
第5回	実習報告(4)	
第6回	課題についての合同クラス報告(1)	
第7回	課題についての合同クラス報告(2)	
第8回	課題についての合同クラス報告(3)	
第9回	課題についての合同クラス報告(4)	
第10回	実習報告会の事前討議(1)	
第11回	実習報告会の事前討議(2)	
第12回	実習報告会	
第13回	報告書作成(1)	
第14回	報告書作成(2)	
第15回	実習総括討議(シンポジウム開催)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを作成する。理解の深さ、討論の深さとともに、レポートの客観性や論理性についても評価する。また、講義への質問内容や討論への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SE) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SE)

13086

担当者名 / Instructor 小川 栄二

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「人間福祉演習Ⅲ」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」の事後学習を行う。実習体験についてクラスで報告しフィードバックをうけることを通して、利用者や現場の状況、実践のあり方・方法、社会制度や政策との関わり、自らの課題などについて理解を深める。また、実習の目標と計画がどの程度達成できたか、その成果は何か、また今後取り組むことが必要なことは何かを検討する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 実習で関わった分野、施設・機関、人・組織・地域の現状と課題について具体的に述べるができる。
2. 実習先で見聞した課題について、社会福祉士がとるべき具体的・实际的・倫理的な対処方法を述べるができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」「社会福祉援助技術現場実習」の履修は必須である。また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要と導入	
2	実習報告	
3	実習報告	
4	実習報告	
5	実習報告	
6	実習報告	
7	中間報告会	
8	中間報告会	
9	課題についてのグループプロジェクト	
10	課題についてのグループプロジェクト	
11	課題についてのグループプロジェクト	
12	実習報告書	
13	実習報告書	
14	実習総括報告会	
15	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを課す。レポートでは理解の深さ、客観性、論理性について評価する。また、授業への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SF) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SF)

13087

担当者名 / Instructor 山田 尋志

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は「人間福祉演習」と連動しており、実習の事後学習を基本とする。実習体験をフィードバックし、実習計画や実習課題がいかに達成されたか、これらの課題は何かについて、個別あるいはグループ学習の中で報告・確認していく場とする。また各自の実習を振り返り、社会福祉現場の現状や課題、機能、体制などの状況をより深く理解するとともに、これからの社会福祉及び社会福祉従事者について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives

社会福祉援助技術現場実習についての成果を整理し、社会福祉に関する専門的な学習を深めるための総括をすることができる。社会福祉現場実習によって、社会福祉実践に対する十分な理解を踏まえた我が国の社会福祉制度・政策の問題点や社会福祉問題について、的確な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告(1)	
第3回	実習報告(2)	
第4回	実習報告(3)	
第5回	実習報告(4)	
第6回	課題についての合同クラス報告(1)	
第7回	課題についての合同クラス報告(2)	
第8回	課題についての合同クラス報告(3)	
第9回	課題についての合同クラス報告(4)	
第10回	実習報告会の事前討議(1)	
第11回	実習報告会の事前討議(2)	
第12回	実習報告会	
第13回	報告書作成(1)	
第14回	報告書作成(2)	
第15回	実習総括討議(シンポジウム開催)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを作成する。理解の深さ、討論の深さとともに、レポートの客観性や論理性についても評価する。また、講義への質問内容や討論への参加度合も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SG) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SG)

13088

担当者名 / Instructor 池添 素

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は「人間福祉演習」と連動しており、実習の事後学習を基本とする。実習体験をフィードバックし、実習計画や実習課題がいかに達成されたか、これらの課題は何かについて、個別あるいはグループ学習の中で報告・確認していく場とする。また各自の実習を振り返り、社会福祉現場の現状や課題、機能、体制などの状況をより深く理解するとともに、これからの社会福祉及び社会福祉従事者について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives

社会福祉援助技術現場実習についての成果を整理し、社会福祉に関する専門的な学習を深めるための総括をすることができる。社会福祉現場実習によって、社会福祉実践に対する十分な理解を踏まえた我が国の社会福祉制度・政策の問題点や社会福祉問題について、的確な判断ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入	
第2回	実習報告(1)	
第3回	実習報告(2)	
第4回	実習報告(3)	
第5回	実習報告(4)	
第6回	課題についての合同クラス報告(1)	
第7回	課題についての合同クラス報告(2)	
第8回	課題についての合同クラス報告(3)	
第9回	課題についての合同クラス報告(4)	
第10回	実習報告会の事前討議(1)	
第11回	実習報告会の事前討議(2)	
第12回	実習報告会	
第13回	報告書作成(1)	
第14回	報告書作成(2)	
第15回	実習総括討議(シンポジウム開催)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを作成する。理解の深さ、討論の深さとともに、レポートの客観性や論理性についても評価する。また、講義への質問内容や討論への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SH) § 社会福祉援助技術実習指導Ⅲ (SH)

13089

担当者名 / Instructor 櫻谷 真理子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、「人間福祉演習Ⅲ」と連動しており、「社会福祉援助技術現場実習」の事後学習を行う。実習体験についてクラスで報告しフィードバックをうけることを通して、利用者や現場の状況、実践のあり方・方法、社会制度や政策との関わり、自らの課題などについて理解を深める。また、実習の目標と計画がどの程度達成できたか、その成果は何か、また今後取り組むことが必要なことは何かを検討する。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 実習で関わった分野、施設・機関、人・組織・地域の現状と課題について具体的に述べるができる。
2. 実習先で見聞した課題について、社会福祉士がとるべき具体的・实际的・倫理的な対処方法を述べるができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」「社会福祉援助技術現場実習」の履修は必須である。また、「社会福祉援助技術論」および「ソーシャルワーク論」の履修が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要と導入	
2	実習報告	
3	実習報告	
4	実習報告	
5	実習報告	
6	実習報告	
7	中間報告会	
8	中間報告会	
9	課題についてのグループプロジェクト	
10	課題についてのグループプロジェクト	
11	課題についてのグループプロジェクト	
12	実習報告書	
13	実習報告書	
14	実習総括報告会	
15	ふりかえり	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回、個別に講義や討論等の内容をまとめたレポートを課す。レポートでは理解の深さ、客観性、論理性について評価する。また、授業への参加度も評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ソーシャルワーク実習』	岡田まり他 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

精神保健福祉援助演習 (S)

14460

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

精神科ソーシャルワーカーの養成において重要な役割を果たすのが精神保健福祉援助演習である。精神保健福祉に関する他の科目で学んだ理論を、教員と学生の共同作業により具象化し、精神科ソーシャルワーカーの専門性(価値・倫理、知識、技術)を培う。当事者の生活と権利を護り、当事者のパートナーとして実践を展開するために必要な倫理や価値、さらに技術をディベート、グループワーク、ロールプレイ等々を活用し獲得することを目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

揺れながら共に学び、共に育つ。
 討論できる精神科ソーシャルワーカーとして育つ。
 生きづらさを持つ個々の精神障害者と同様の課題を持つ仲間達が、社会に参加する力を獲得するプロセスを提示できる力を獲得する。
 専門性を獲得する為に自己に求められている課題と対峙する力を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

精神保健福祉実習は本科目と同時に履修しなければならない。
 他の精神保健福祉士課程専門科目をできるだけ事前に、もしくは本科目と同時に履修する必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	オリエンテーション	援助演習の約束 自己開示
第2回	精神障害者の生活と支援	KJ法 当事者理解
第3回	精神障害者の生活と支援	リフレーミング ストレngths
第4回	支援関係形成とコミュニケーション・スキル	話す人としての役割 聞く人としての役割
第5回	支援関係形成とコミュニケーション・スキル	バイステック7原則 循環的關係
第6回	支援関係形成とコミュニケーション・スキル	非言語的コミュニケーション ロールプレイ
第7回	課題の発見・分析と支援計画 - 統合失調症 -	マッピング技法 ICF 資源
第8回	課題の発見・分析と支援計画 - アディクション -	マッピング技法 家族支援
第9回	課題の発見・分析と支援計画 - 思春期・青年期 -	マッピング技法 家族システム 多機関連携
第10回	保健所におけるソーシャルワーク事例	危機対応 受療支援 退院促進
第11回	精神科病院におけるソーシャルワーク事例	権利擁護 家族調整 住居設定
第12回	社会復帰施設におけるソーシャルワーク事例	柔らかな危機対応 自立支援 結婚 ステイグマ
第13回	自己覚知	自身の長所・短所 ゲーム 他己紹介
第14回	自己覚知	強さに視点をあてた自己理解
第15回	前期のまとめ	実習前課題
第16回	グループワーク	SST 日常生活場面 デイケア
第17回	グループワーク	心理教育 統合失調症圏 思春期・青年期圏 アディクション圏
第18回～第23回	スーパービジョン	限界と課題 自己の可能性
第24回～第29回	各領域でのソーシャルワーク	実習報告
第30回	まとめ	精神保健福祉士としての価値

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習への参加回数と参加意欲で判断する

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

精神科ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)として育っていく為に、常に当事者の暮らしに関心を持って欲しい。
 この演習は、精神障害者の生活支援スキルを学ぶことを目的としており、各自の悩みを解決する場ではない。

教科書 / Textbooks

なし

参考書 / Reference Books

授業のなかで指示する

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

精神保健福祉援助実習 (S)

14461

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 4

授業の概要 / Course Outline

精神保健福祉援助実習は、通年の授業と180時間以上の現場実習で構成されている。現場実習は、精神科ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）として、精神障害者の伴走者となる初めての体験である。180時間という限定された時間であるが精神障害を持つ当事者や家族と直接関わるなかで、講義で学んだ理論や演習で間接的に体験した知識を活用することが求められる。その直接的な関わりの中で、専門職としてのスキルや価値、倫理を高め、支援者として自らの課せられている課題を知ることが必要である。

到達目標 / Attainment Objectives

精神障害者の生活課題を理解し、地域生活支援のありかたにつき考察する力を獲得する。
医療・生活の現場における専門職の実践課題と現状につき分析する力を獲得する。
支援者として自らが求められている課題を明確にできる。
最低限の倫理や義務につき理解し護ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

精神保健福祉援助演習は本科目と同時に履修しなければならない。
他の精神保健福祉士課程専門科目をできるだけ事前に、もしくは本科目と同時に履修する必要がある。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	オリエンテーション	実習の意義 目的 一年間の課題
第2回	事前学習の内容と方法	現場が求めている実習生 現場が求めない実習生 実習に期待すること KJ法
第3回	事前学習 - 実習計画立案にあたって -	実習先の情報収集 実習報告からの学び
第4回	事前学習 - 精神障害者と家族に関する文献学習 -	精神科医療 精神保健福祉 家族間力動 偏見
第5回	事前学習 - 精神障害者の地域生活資源に関する文献学習	精神保健福祉法 自立支援法
第6回	実習計画の立て方	目的、意義、目標、課題、評価方法
第7回	実習計画の発表	目的 意義 目標 課題
第8回	実習計画の再発表	目的 意義 目標 課題
第9回	精神科ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)の視点と実践	パートナーシップ バウンダリー
第10回	精神科ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)の視点と実践	抵抗 逆抵抗 共感 自己覚知
第11回	精神科ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)の視点と実践	マイクロカウンセリング技法
第12回	精神科ソーシャルワーカー(精神保健福祉士)の視点と実践	バーンアウト要因
第13回	実践と記録	客観的描写 自己評価 気づき(課題発見)
第14回	実習生の心得	倫理、課題、スーパービジョン
第15回	実習直前ガイダンス	手続き、必要書類、様々な状況への対処
第16～17回	実習の振り返り	当事者 支援者 自己 地域
第18～23回	実習報告	実習概要 学び 成長 今後の課題
第24～26回	実習報告会	報告の準備、報告
第27～29回	共通課題についてのグループ演習	視点 対処法 倫理 自己覚知など
第30回	総括的演習 まとめ	今後の課題

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

実習前に、実習施設を訪問し、オリエンテーションを受けるとともに、実習計画について相談する。
前期には、実習に関連する事前学習を行い、その内容の発表準備とレポート作成が必要。また、実習計画書の作成は必須。後期には、実習についてのクラス発表の準備、実習報告会の準備、実習報告書の作成を行う。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	演習活動への参加、事前学習レポート、実習計画、実習報告、実習記録などを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

文献学習とは、各自が文献を検索し、自己学習結果を報告することを意図する。
実習計画は、グループで発表し指摘を受けた項目を考慮し再発表する機会を与える。
実習には、受講生が主体的に取り組むことがなによりも求められる。

教科書 / Textbooks

指定しない

参考書 / Reference Books

授業進行と共に紹介する

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

アカデミックP & D (SB) § Academic EnglishV (S1)

30439

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Using the format of formal debate, this course aims to help students further develop their research and critical thinking skills as well as their ability to present their ideas to an English-speaking audience both clearly and persuasively. Preparation for in-class debates will require careful research and close collaboration between students.

到達目標 / Attainment Objectives

By the end of this course students will be able to present an opinion clearly and persuasively to an audience, using a variety of techniques to support an argument. They will be able to listen to other speakers' ideas critically and will know a variety of techniques for refuting those ideas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

<u>授業日(第N回)</u>	<u>テーマ / Theme</u>	<u>キーワード / Key Word</u>
-----------------	--------------------	-------------------------

Students will be streamed into three separate classes for Academic English V: S1, S2 & S3. For all three classes the textbook and course objectives are the same. Exact class schedules will differ, however, and during the 1st week of the semester, instructors will provide students with full details of the syllabus for their own class.

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

<u>種別 / Kind</u>	<u>割合 / Percentage</u>	<u>評価基準等 / Grading Criteria etc.</u>
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

Class instructors will provide textbook details during the 1st week of the semester.

参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

アカデミックライティング (SB) § Academic EnglishIV (S1)

30099

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to help students further develop their academic research and writing skills. Depending on the class teacher's syllabus, students will complete either one or two major academic writing assignments (either one longer essay of 1500-2000 words, or two shorter essays of 750-1000 words each). These essays should be put through multiple drafts and finished to a high standard, complete with a properly-formatted cover sheet and APA-style citations and references.

到達目標 / Attainment Objectives

By the end of the course, students will have improved their ability to write academic essays and research papers, in particular their ability to integrate information from secondary sources, by summarizing, paraphrasing and using quotations effectively.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

<u>授業日(第N回)</u>	<u>テーマ / Theme</u>	<u>キーワード / Key Word</u>
-----------------	--------------------	-------------------------

Students will be streamed into three separate classes for Academic English IV: S1, S2 & S3. For all three classes the course objectives are the same. Exact class schedules will differ, however, and during the 1st week of the semester, instructors will provide students with full details of the syllabus for their own class.

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

<u>種別 / Kind</u>	<u>割合 / Percentage</u>	<u>評価基準等 / Grading Criteria etc.</u>
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

Class instructors will provide textbook details during the 1st week of the semester.

参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

担当者名 / Instructor 佐々木 嬉代三

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

いかなる社会学を指して現代社会学というのか、私にとっては自明ではない。だが、少なくとも現代社会のありようを考えさせてくれる社会学が、現代の名を冠するに相応しいと思う。その意味で今回は「リスク社会」論を取り上げ、現代社会のリスクのありようの特異性に注目したいと考える。授業は基本文献を定め、それを学生が分担する形で進めたいと思うが、多様な文献を参照して意欲的な研究報告がなされることを期待したい。

到達目標 / Attainment Objectives

現代社会がいかなる社会か、それを考える力を身に付けて欲しい。同時に授業に参加する学生が、きちんと本を読み、レジュメをきり、自らの思考・見解を他者に伝えることが出来れば、大成功です。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	はじめに 自己紹介、授業の進め方の確認、分担の確認	
第2回	担当者の最近の研究について	
第3回-第4回	『リスク社会』、第一部 文明という火山 危険社会の輪郭(その1)	第1章 富の分配と危険の分配の論理
第5回-第6回	同上(その2)	第2章 危険社会における政治的知識論
第7回-第8回	第二部 社会的不平等の個人化(その1)	第3章 階級と階層の彼方
第9回-第10回	同上(その2)	第4章 わたしはわたし 家庭の内と外における男女関係
第11回-第12回	同上(その3)	第5章 生活状況と生き方のモデル 個人化、制度化、標準化
第13回	同上(その4)	第6章 職業労働の脱標準化
第14回	以上の総括 リスク社会とは何か	
第15回	予備日	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

授業は学生の分担報告を基本とし、教員はその報告に対する補足報告を受け持つことになる。分担を決めることが重要なので、第1回は全員出席のこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	50 %	
平常点評価	50 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

貪欲に本を読むこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
危険社会	ウルリヒ・ベック / 法政大学出版局 / 4-588-00609-6 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
リキッド・モダニティ	ジークムント・パウマン / 大月書店 / 4-272-43057-2 /
希望格差社会	山田昌弘 / 筑摩書房 / 4-480-86360-5 /
社会学評論vol.54,no.4/2004	/ / /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

What do social entrepreneurs do, and why are they becoming more active than ever today around the world? Ordinary people are taking actions to solve the social problems where governments and bureaucracies have failed. They have founded nonprofit organizations to support their activities that can help the weakest, the poorest, and the ignored population. We will read about the characteristics of social entrepreneurs; watch a short clip of specific cases (DVD, 10min. each); and discuss about the topic throughout the course.

到達目標 / Attainment Objectives

We will explore how social entrepreneurs find ways that lead to solutions. By the end of the course, students are expected to analyze the differences and similarities between social entrepreneurship and other forms of entrepreneurship (business).

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

This course is conducted *entirely in English* and is open to both graduate and advanced undergraduate students, including non-English-fukusenko students. All required language courses should be completed before taking this course. Your participation is a must to make this course successful. Please come to class well prepared with your reading assignment *completed* beforehand.

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
9/28 (1)	Introduction: What is social entrepreneurship?	Explanation of Attainment Objectives, Procedures and Grading Methods
10/5 (2)	Chapter 1: Restless People	
10/12 (3)	Chapter 8: The Role of the Social Entrepreneur	
10/19 (4)	India: Train platform schools (DVD 15min.)	NPO: South Asian Coalition on Child Servitude
10/26 (5)	New York: Homelessness and Housing	NPO: The Common Ground (DVD 10min)
11/2 (6)	Thailand: Education for Girls (DVD) 15min	Prostitution and Child/Women Trafficking
11/9 (7)	Chapter 16: Four Practices of Innovative Organizations	
11/16 (8)	Bangladesh: The banker to the poor (DVD 15 min.)	
11/23 (9)	Project: Grameen Bank, Micro Credit (This day is a national holiday, but the university is open)	
11/30 (10)	Chapter 17: Disabilities Rights	
12/7 (11)	Egypt: Children of Special Needs (DVD) 15min	NPO: Baby Academy
12/14 (12)	Chapter 18: Six Qualities of Successful Social Entrepreneurs	
12/21 (13)	Individual Presentation (20%)	(Please note that there is no class on 1/11 Monday: national holiday)
1/9 (14) SAT	Chapter 21: The Emergence of the Citizen Sector	
1/18 (15)		In-Class Verification Exam (30%): Final Verification of Attainment Levels and post-exam lecture

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	In-Class Verification Exam (30%) Participation(50%), Presentation(20%)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

We will be watching short visual clips (programs) in class so your attendance is a must.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
How to Change the World: Social Entrepreneurs and the Power of New Ideas	David Bornstein / Oxford Uni. Press / 978-0-19-533476-0 / Paperback edition (2007)

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

Useful web sites: <http://www.pbs.org/opb/thenewheroes/>

担当者名 / Instructor 赤井 正二

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

社会学、経済学、政治学などのディシプリンの中での研究がますます細分化するに依り、少なくともそれらを概観する観点もまた求められる。現代という時代が歴史的経過の堆積であるのと同じように、現代という時代についての問題意識もまた、社会科学の総合的な経過の上で成立している。社会科学を総合的に考える場合、日本の社会科学が輸入学問として始まり、今でも欧米の研究を学ぶことに依存しているという事情を無視することはできない。この授業では、私たちにとって避けることのできない「日本」という状況と社会科学との関係を学びたい。

具体的には、以下の文献を、精読・要約・解説しながら進める。

丸山真男『日本の思想』岩波新書、1961年。

(副読本、ハリー・ハルトゥーニアン『近代による超克 戦間期日本の歴史・文化・共同体 上』(梅森直之訳)岩波書店、2007年。)

到達目標 / Attainment Objectives

「社会の科学的研究」の共通の基礎となる研究史と論点を学び、論文作成の前提となる広い視野を形成すること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「社会科学」と「社会思想」	テキストの紹介、授業の進め方
2	第1章 日本の思想 まえがき	「伝統」と「外来」、「開国」の意味
3	第1章 日本の思想 第一節	無構造の「伝統」、逆説や反語の機能転換
4	第1章 日本の思想 第二節	「国体」の創出
5	第1章 日本の思想 第三節	無責任の体系、共同体的心情
6	第1章 日本の思想 第四節	二つの思考様式の対立
7	第3章 思想のあり方について1	イメージと現実、ササラ型とタコツボ型
8	第3章 思想のあり方について2	国内的鎖国と国際的開国
9	第4章 「である」ことと「する」こと1	「である」社会と「する」組織
10	第4章 「である」ことと「する」こと2	「する」価値と「である」価値
11	前半まとめ	補足、「青い山脈」
12	『近代による超克』第1章 モダンライフという幻想」1	「文化生活」
13	『近代による超克』第1章 モダンライフという幻想」2	「街頭生活」
14	『近代による超克』第1章 モダンライフという幻想」3	「消費生活」
15	現代社会と『日本の思想』	まとめ、小論文

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	20 %	小論文
平常点評価	80 %	出席

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『日本の思想』	丸山真男 / 岩波新書 / /
『近代による超克 戦間期日本の歴史・文化・共同体 上』	ハリー・ハルトゥーニアン / 岩波書店 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

担当者名 / Instructor 崎山 治男

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

社会学的な物の見方とは、どのようなものか？「社会学的」という表現をしばしば耳にするが、その答えは定かではない。それは第1には、これまでの社会学の歴史の中でも様々な見解の対立があったことがある。また第2には、近年の学問的状况の中での社会学の研究対象の多様化にもよる。このような背景から、本講義は「社会学とは何か？」という基本的な問いに、社会学史の立場から取り組んでいくことをめざす。社会学の基本的な発想法や思考法を学びたい、幅広い専門分野をもつ学生・院生の受講を期待する。15回の講義のなかで「社会を社会学的に見る方法」について体系的な知識の獲得を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・社会学説史に即して、「社会学的」な問いの立て方を身につける。
- ・「ミクロ」対「マクロ」、「主体」対「構造」等の、社会学理論の基礎的な対立軸を理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

- ・社会学史、基礎社会学などを取っていること(あるいは平行して取る)ことが望ましい。ただ、義務ではない。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	イントロダクション	
2	近代社会の登場と社会学	「社会的」なるものの登場と実証主義
3	社会実証主義と方法論的集合主義	社会を「モノ」として捉える欲望
4	近代社会の病理と連帯	時代診断の学としての社会学
5	方法論的個人主義と理解社会学	他者を「知る」ことの(不)可能性
6	近代社会のエートスと行為論的視座	近代を生み出す倫理・近代が生み出す倫理
7	主意主義的行為理論と目的論的機能主義	行為と機能の関連を目指して
8	社会の体系論的 - システム論的分析	社会の「総体」を把握する欲望
9	因果的機能分析と中範囲の理論	社会学が「社会学」出来る範囲とは？
10	社会の意味論的分析	「私」と「他者」との並立可能性
11	社会的過程と自己	意味を生み出し続ける社会
12	リアリティのミクロ社会学(1)	私たちが作る社会
13	リアリティのミクロ社会学(2)	演技としての行為・社会
14	社会構築主義の功罪	「構築」と「正義」のはざま
15	構造-機能主義と再帰的自己	モダニティとアイデンティティ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	70 %	社会学の持つ「構え」を習得しているか、ある思想と、その前後、時代背景とのつながりを理解出来ているかで評価する。
平常点評価	30 %	講義中に課す課題や、コミュニケーション・ペーパーの提出状況など。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- ・社会学理論の「見かけ」の難しさに惑わされないこと。
- ・「社会」の理論である限り、必ず身近に応用出来るものであることを意識すること。
- ・「分かる」まで説明するので、コミュニケーションペーパーなどで随時質問すること。

教科書 / Textbooks

特にない。毎回レジュメを配布する。

参考書 / Reference Books

特にない。毎回のレジュメで各回の内容に関する参考文献を指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

担当者名 / Instructor 宝月 誠

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

現代および古典の代表的な社会理論について解説したテキストを一通り学んだ後に、代表的な著作を輪読する。その後、参加者は各自の関心のある理論を取り上げ、代表的なテキスト(翻訳)を報告する。解説と議論を業を通じて社会学的理論の理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 代表的な社会学理論について学ぶことができる。
2. 自ら関心のある理論を他の理論と比較しながら一段と深めることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

できれば社会学理論・社会学史

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	課題の設定	社会理論のタイプ・理論の学び方
2 - 4	『クロニクル社会学』の解説と輪読	ヴェーバー・デュルケーム・ジンメル・ミード・ゴフマン・シュツツ・合理的選択論
5 - 6	マートン『社会理論と社会構造』の輪読	中範囲の理論・機能分析・準拠集団・科学社会学
7 - 8	J. コールマン『社会理論の基礎』上巻の輪読	要素的行為・行為の構造・社会的交換システム
9 - 10	P. ブルデュー・L. ヴァカン『リフレクシヴ・ソシオロジーへの招待』の輪読	関係論・社会的世界・反省性
11 - 14	古典・現代の代表的な社会学理論のテキストの報告	参加者の関心に照らしてテキストは選択
15	総括と展望	望ましい社会学理論とは

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

文献を輪読し、相互理解を深める。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	50 %	自ら選んだひとつの理論についてのレポート内容の充実度から評価
平常点評価	50 %	授業への出席と報告から評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

理論を単に知識として知るだけでなく、どのように自分の研究に活用するのかを常に考えてほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
クロニクル社会学	那須 壽編 / 有斐閣 / 4-641-12041-2 /
社会理論と社会構造	R. K. マートン / みすず書房 / 4-622-01705-9 /
社会理論の基礎	J. コールマン / 青木書店 / 4-250-20424-5 /
実践理性	P. ブルデュー / 藤原書店 / 978-4-89434-557-7 /

各自の報告と論議では代表的な社会学者のテキストを参加者が選択して報告する。翻訳テキストでも可。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新しい社会学のあゆみ	新睦人編 / 有斐閣 / 4-647-12302-0 /

参考書は授業のなかで指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

さらに個人的アドバイスが必要なときには、授業後のオフィスアワーを活用のこと

担当者名 / Instructor 櫻谷 真理子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

子どもを取り巻く社会状況と児童福祉ニーズについて理解を深め、子どもの発達を保障していくために必要な支援、制度について考察する。前半は文献を参考に、分担して研究を行い、レジュメを作成して発表する。その後討論する。後半は各自興味のあるテーマを選択して、研究を深め、その成果を発表する。その後討論する。

到達目標 / Attainment Objectives

わが国の子どもの現実、家族の実態への理解を深める。
児童福祉問題と社会的背景について検討する。
児童福祉、家族福祉の課題を発見する。
児童虐待と介入・援助についての理解を深める。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入講義	今日の児童福祉、児童虐待に関する研究動向
2	子どもを取り巻く社会状況と児童福祉ニーズ	児童問題、家族問題、児童福祉の対象とニーズ
3	子どもの権利擁護、発達保障とわが国の児童福祉政策	児童福祉施設の現状と課題
4	児童福祉の法制度と実施体制、機関の概要	児童相談所の実態と課題
5	児童虐待対応の歴史の変遷	児童虐待への対応と課題
6	児童虐待の介入とアセスメント	子どもの安全確保と家族支援のための介入技法
7	児童虐待の再発防止と家族支援	親とのパートナーシップの形成と家族支援
8	テーマ別個人発表と討論	
9	テーマ別個人発表と討論	
10	テーマ別個人発表と討論	
11	テーマ別個人発表と討論	
12	テーマ別個人発表と討論	
13	テーマ別個人発表と討論	
14	テーマ別個人発表と討論	
15	総括講義	児童福祉、家族福祉の実践と課題

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	50 %	授業内容と関連したテーマでレポートを課し、評価する。
平常点評価	50 %	授業時の発表内容やレジュメ、意見を基に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
子ども虐待と援助	竹中哲夫 / ミネルヴァ書房 / 623 - 03662 - 6 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Child Protection	Eileen・Munro / SAGE Publication / 978-1-4129-1179-5 /
子ども虐待の解決	インスー・キムバーグ著 桐田弘江訳 / 金剛出版 / 7724 - 0807 - XC3011 /
新・子どもの世界と福祉	竹中哲夫 / ミネルヴァ書房 / 623 - 04019 - 4 /
子どもの貧困	浅井春夫 / 明石書店 / ISBN978 - 4 - 7503 - 2755 - 6 C0036 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

担当者名 / Instructor 奥村 信幸

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

以下の問題を文献講読・テーマ発表を通して考える。

- ・インターネットの発達表現の自由やプライバシーに及ぼしている影響。
- ・ネット文化で人間関係がどのように変化したのか。
- ・著作権についての基本的理解とコンテンツ政策の是非。
- ・公共財としてのメディアインフラの構造の理解と制度整備の整合性。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要・問題意識の共有のための議論	
第2回	文献講読(1) : インターネット社会の概要を理解する	
第3回	文献講読(2) : サイバー社会の現状認識	
第4回	文献講読(3) : プライバシーとコントロール	
第5回	文献講読(4) : ネット社会は危険なのか	
第6回	文献講読(5) : 著作権・著作隣接権	
第7回	文献講読(6) : クリエーターの権利・市民の権利	
第8回	文献講読(7) : デジタルで何が変わったのか	
第9回	ケーススタディ(1) : 個人発表と討論	
第10回	ケーススタディ(2) : 個人発表と討論	
第11回	ケーススタディ(3) : 個人発表と討論	
第12回	ケーススタディ(4) : 個人発表と討論	
第13回	ケーススタディ(5) : 個人発表と討論	
第14回	ケーススタディ(6) : 個人発表と討論	
第15回	まとめの議論と補足	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

受講者数によって授業の内容は変えていくので暫定的なものです。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	50 %	テーマは基本的に個人発表のテーマを発展させたもの。形式は追って指示する。
平常点評価	50 %	クラス内発表と討論にどれだけ参加しているか。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

クラス内で指示する。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

(教)介護等体験実習 (Q1)

14520

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

介護等体験特例法に定められた要件を満たす体験実習として、本科目においては、特別支援学校2日間と社会福祉施設5日間の「介護等体験」(障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験)を行う。計7日間の体験実習を通じて、義務教育に従事する教員をめざす者として、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めていくことをめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

同上。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

他の教職課程科目。なお、本科目は、前年度までに「(教)介護等体験の研究(1単位)」の単位を修得していなければ、受講することができない。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	【介護等体験直前指導】 衣笠各学部:4月11日(土)17:30~18:00、BKC各学部:4月18日(土)17:30~18:00 衣笠各学部:10月24日(土)17:30~18:00、BKC各学部:10月17日(土)17:30~18:00	は2009年度前期・後期介護等体験予定者全員、は2009年度後期介護等体験予定者全員が対象。詳しくは、「2009年度回生別教職課程関連行事日程表」(教職課程時間割表、教職課程HPに掲載)を確認のうえ、必ず出席すること。
	【年間随時】 特別支援学校(2日間)、社会福祉施設(5日間)での介護等体験	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	「P(合格)」「F(不合格)」による評価。詳細は備考参照。

体験先での取り組み状況や「終了報告書(レポート)」等を総合的に評価する。

なお、「介護等体験証明書のコピー」および「終了報告書」を、体験終了後1週間以内に必ず提出すること。「終了報告書」の提出がなければ成績評価対象とはならないので、特に注意すること。

【提出先】衣笠:教職教育課窓口、BKC:BKC教職支援センター窓口

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

本科目は、所属キャンパス・学部の別によらず、同一クラス(Q1クラス)を受講登録すること。

(教)介護等体験の研究 (GA)

11181

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「介護等体験」は、1998年度より施行された「介護等体験特例法」に基づき、義務教育学校(小・中学校)の教員になるための必須要件となった制度である。この制度化の位置付けは、「人の心の痛みがわかる人づくりの実現に資することを目的とする」(文部科学省)とされている。また、その社会的背景として、急速に進行している少子・高齢化の現実がある。近い将来、この少子・高齢社会を支える担い手の減少状況を見据えた時、教育(とりわけ義務教育課程)におけるノーマライゼーションおよび福祉的視点と実践的態度の育成が焦点の課題であり、教員の資質として期待されている。授業は、「介護等体験実習」をより充実させるための理論的・実践的内容で構成する。

到達目標 / Attainment Objectives

「介護等体験」を行う場所、「特別支援学校」と「福祉施設」についての知識(理念・実態・課題等)を得ることにより、教職を目指すものとして、障害のある人々や高齢者・障害者・幼児児童等に対する理解を深め、「介護等体験」への意欲的姿勢を培う。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

小学校、中学校教員免許状の取得に必要な科目

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
9月29日(火)	イントロダクション:「介護等体験」の位置付けとその意義。実施までの流れと登録手続き	
10月13日(火)	「特別支援学校」について - 「特別支援教育」の現状及び障害のある幼児児童生徒の実態と理解	
10月27日(火)	「特別支援学校」について - 「特別支援学校」の概要及び現状理解と「介護等体験」実施の様子[中間レポート]	
11月10日(火)	「福祉施設」について - 高齢者福祉施設の現状と課題	
11月24日(火)	「福祉施設」について - 障害者福祉施設の現状と課題	
12月8日(火)	「介護等体験」実施に向けての自己理解(グループ・ワーク等)	
12月22日(火)	「介護等体験」参加するに当たっての心構えとまとめ(先輩の体験談等)[終了レポート]	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席を最重要視する。評価方法は下記「備考欄」の内容を踏まえて「P/F評価」とする。

「介護等体験」は教職を目指す者として、最初の就職活動として取り組む心構えが必要である。その意義をよく理解し、熱意を持って授業に臨めたかどうかを最大の評価基準とする。5回以上の出席及び[最終レポート]提出をもって「P」評価とする。

そのため、「出席」が最重要視されることから、原則としてすべての授業への出席が必須となる。

事前届出の有無を問わず、3回以上欠席した場合は「F評価」とする。また、「遅刻」「QRコード票無添付」「私語」についても厳しく評価を行なう。

QRコード票についても、2回添付忘れの場合には、別途レポート課題を課し、提出をもって評価対象とする。

20分超える「遅刻」を2回した場合についても、理由の如何を問わず入室を認めない。

「私語」についても厳しく評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

小学校・中学校教員免許取得のために義務付けられている科目であるが、教職を目指す者として、今日の社会的課題である「ノーマライゼーション」理念の具現化に向けた実践的経験の場として自らの人権感覚を磨き、常識ある行動をとれるよう、積極的な姿勢を望む。

教科書 / Textbooks

テキストは使用しない。適宜資料配付を行う。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「介護等体験ガイドブック フィリア(新版)」	/ ジアース教育社 / /
「新版よくわかる社会福祉施設」	/ 全国社会福祉協議会 / /
発達障害白書2008版、2009版	社団法人日本発達障害福祉連盟 / 日本文化科学社 / /

参考書は、授業時において別途配布する(介護等体験履修料@3000-に中に含む)。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

授業で学ぶ内容をより深めるために、各特別支援学校ホーム・ページや児童福祉施設・障害者福祉・高齢者福祉などの関連したページを検索し参

照することを勧める。

その他 / Others

出席管理には「QRコード・シール」を使用する。受講生は必ず毎回「QRコード・シール」を持参すること。
2回忘れた場合には別途レポート改題を課し評価対象とする。

(教)介護等体験の研究 (GB)

11905

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「介護等体験」は、1998年度より施行された「介護等体験特例法」に基づき、義務教育学校(小・中学校)の教員になるための必須要件となった制度である。この制度化の位置付けは、「人の心の痛みがわかる人づくりの実現に資することを目的とする」(文部科学省)とされている。また、その社会的背景として、急速に進行している少子高齢化の現実がある。近い将来、この高齢社会を支える担い手の減少状況を見据えた時、教育(とりわけ義務教育課程)における福祉的視点と実践的態度の育成が焦眉の課題であり、教員の資質として期待されている。授業は、「介護等体験実習」をより充実させるための理論的・実践的内容で構成する。

到達目標 / Attainment Objectives

「介護等体験」を行う場所、「特別支援学校」と「福祉施設」についての知識(理念・実態・課題等)を得ることにより、教職を目指すものとして、障害のある人々や高齢者・障害者・幼児児童等の施設利用者に対する理解を深め、「介護等体験」への意欲的姿勢を培う

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

小学校、中学校教員免許状の取得に必要な科目

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
9/30(水)	イントロダクション:「介護等体験」の位置付けとその意義。実施までの流れと登録手続き	
10/14(水)	「特別支援学校」について - 「特別支援教育」の現状及び障害のある幼児児童生徒の実態と理解	
10/28(水)	「特別支援学校」について - 「特別支援学校」の概要及び現状理解と「介護等体験」実施の様子[中間レポート]	
11/11(水)	「福祉施設」について - 高齢者福祉施設の現状と課題	
11/25(水)	「福祉施設」について - 障害者福祉施設の現状と課題	
12/9(水)	「介護等体験」実施に向けての自己理解(グループ・ワーク等)	
12/23(水)	「介護等体験」参加するに当たっての心構えとまとめ(先輩の体験談等)[終了レポート]	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席を最重要視する。評価方法は下記「備考欄」の内容を踏まえて「P/F評価」とする。

「介護等体験」は教職を目指す者として、最初の就職活動として取り組む心構えが必要である。その意義をよく理解し、熱意を持って授業に臨めたかどうかを最大の評価基準とする。5回以上の出席及び[最終レポート]提出をもって「P」評価とする。

そのため、「出席」が最重要視されることから、原則としてすべての授業への出席が必須となる。

事前届出の有無を問わず、3回以上欠席した場合は「F評価」とする。また、「遅刻」「QRコード票無添付」「私語」についても厳しく評価を行なう。

QRコード票についても、2回添付しない場合には、別途レポート課題を課し、提出をもって評価対象とする。

20分超える「遅刻」を2回した場合についても、理由の如何を問わず入室を認めない。

「私語」についても厳しく評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

小学校・中学校教員免許取得のために義務付けられている科目であるが、教職を目指す者として、今日の社会的課題である「ノーマライゼーション」理念の具現化に向けた実践的経験の場として自らの人権感覚を磨き、常識ある行動をとれるよう、積極的な姿勢を望む

教科書 / Textbooks

テキストは使用しない。適宜資料配付を行う。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「介護等体験ガイドブック フィリア(新版)」	/ ジアース教育社 / /
「新版よくわかる社会福祉施設」	/ 全国社会福祉協議会 / /
発達障害白書2008版、2009版	社団法人日本発達障害福祉連盟 / 日本文化科学社 / /

参考書は、授業時において別途配布する(介護等体験履修料@3000-に中に含む)。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

授業で学ぶ内容をより深めるために、各特別支援学校ホーム・ページや児童福祉施設・障害者福祉・高齢者福祉などの関連したページを検索し参

照することを勧める。

その他 / Others

出席管理には「QRコード・シール」を使用する。受講生は必ず毎回「QRコード・シール」を持参すること。
2回忘れた場合には、別途レポート課題を課して評価対象とする。

(教)介護等体験の研究 (GC)

12010

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「介護等体験」は、1998年度より施行された「介護等体験特例法」に基づき、義務教育学校(小・中学校)の教員になるための必須要件となった制度である。この制度化の位置付けは、「人の心の痛みがわかる人づくりの実現に資することを目的とする」(文部科学省)とされている。また、その社会的背景として、急速に進行している少子高齢化の現実がある。近い将来、この高齢社会を支える担い手の減少状況を見据えた時、教育(とりわけ義務教育課程)における福祉的視点と実践的態度の育成が焦眉の課題であり、教員の資質として期待されている。授業は、「介護等体験実習」をより充実させるための理論的・実践的内容で構成する。

到達目標 / Attainment Objectives

「介護等体験」を行う場所、「特別支援学校」と「福祉施設」についての知識(理念・実態・課題等)を得ることにより、教職を目指すものとして、障害のある人々や高齢者・障害者・幼児児童等の施設利用者に対する理解を深め、「介護等体験」への意欲的姿勢を培う。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

小学校、中学校教員免許状の取得に必要な科目

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
9/30(水)	イントロダクション:「介護等体験」の位置付けとその意義。実施までの流れと登録手続き	
10/14(水)	「特別支援学校」について - 「特別支援教育」の現状及び障害のある幼児児童生徒の実態と理解	
10/28(水)	「特別支援学校」について - 「特別支援学校」の概要及び現状理解と「介護等体験」実施の様子[中間レポート]	
11/11(水)	「福祉施設」について - 高齢者福祉施設の現状と課題	
11/25(水)	「福祉施設」について - 障害者福祉施設の現状と課題	
12/9(水)	「介護等体験」実施に向けての自己理解(グループ・ワーク等)	
12/23(水)	「介護等体験」参加するに当たっての心構えとまとめ(先輩の体験談等)[終了レポート]	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席を最重要視する。評価方法は下記「備考欄」の内容を踏まえて「P/F評価」とする。

「介護等体験」は教職を目指す者として、最初の就職活動として取り組む心構えが必要である。その意義をよく理解し、熱意を持って授業に臨めたかどうかを最大の評価基準とする。5回以上の出席及び[最終レポート]提出をもって「P」評価とする。

そのため、「出席」が最重要視されることから、原則としてすべての授業への出席が必須となる。

事前届出の有無を問わず、3回以上欠席した場合は「F評価」とする。また、「遅刻」「QRコード票無添付」「私語」についても厳しく評価を行なう。

QRコード票についても、2回添付しない場合には、別途レポート課題を課し、提出をもって評価対象とする。

20分超える「遅刻」を2回した場合についても、理由の如何を問わず入室を認めない。

「私語」についても厳しく評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

小学校・中学校教員免許取得のために義務付けられている科目であるが、教職を目指す者として、今日の社会的課題である「ノーマライゼーション」理念の具現化に向けた実践的経験の場として自らの人権感覚を磨き、常識ある行動をとれるよう、積極的な姿勢を望む。

教科書 / Textbooks

テキストは使用しない。適宜資料配付を行う。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「介護等体験ガイドブック フィリア(新版)」	/ ジアース教育社 / /
「新版よくわかる社会福祉施設」	/ 全国社会福祉協議会 / /
発達障害白書2008版、2009版	社団法人日本発達障害福祉連盟 / 日本文化科学社 / /

参考書は、授業時において別途配布する(介護等体験履修料@3000-に中に含む)。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

授業で学ぶ内容をより深めるために、各特別支援学校ホーム・ページや児童福祉施設・障害者福祉・高齢者福祉などの関連したページを検索し参照することを勧める。

その他 / Others

出席管理には「QRコード・シール」を使用する。受講生は必ず毎回「QRコード・シール」を持参すること。
2回忘れた場合には別途レポート課題を課して評価対象とする。

(教)総合演習I(N) § (教)総合演習(N) § (教)教職総合演習(N)

12014

担当者名 / Instructor 山岡 憲史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。

なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
 プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
 教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GA) § (教)総合演習 (GA) § (教)教職総合演習 (SA)

13434

担当者名 / Instructor 江原 武一

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 林 徳治

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 笹野 恵理子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GD) § (教)総合演習 (GD) § (教)教職総合演習 (SD)

14063

担当者名 / Instructor 山下 芳樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。

なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
 プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
 教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GE) § (教)総合演習 (GE) § (教)教職総合演習 (SE)

14226

担当者名 / Instructor 森田 真樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 保坂 芳男

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GG) § (教)総合演習 (GG) § (教)教職総合演習 (SG)

13436

担当者名 / Instructor 伊藤 隆司

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GH) § (教)総合演習 (GH) § (教)教職総合演習 (SH)

13437

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GI) § (教)総合演習 (GI) § (教)教職総合演習 (SI)

15999

担当者名 / Instructor 林 徳治

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GJ) § (教)総合演習 (GJ) § (教)教職総合演習 (SJ)

担当者名 / Instructor 沖 裕貴

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GK) § (教)総合演習 (GK) § (教)教職総合演習 (SK)

16350

担当者名 / Instructor 山下 芳樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。

なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GL) § (教)総合演習 (GL) § (教)教職総合演習 (SL)

16351

担当者名 / Instructor 石田 智巳

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GM) § (教)総合演習 (GM) § (教)教職総合演習 (SM)

16352

担当者名 / Instructor 森田 真樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GN) § (教)総合演習 (GN) § (教)教職総合演習 (SN)

16353

担当者名 / Instructor 角田 将士

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods**

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)総合演習I (GO) § (教)総合演習 (GO) § (教)教職総合演習 (SO)

担当者名 / Instructor 中西 仁

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本授業では、人類共通の課題や我が国の社会全体にかかわる課題について、学校での実践への応用可能性を念頭におきながら、多角的・複眼的に検討する。ディスカッションやフィールドワーク等を含む演習形式の授業を行うことによって、自ら課題を設定し、解決にむけて積極的、継続的に取り組む姿勢を培い、次世代を担う教員として必要な基礎的資質および実践的能力の修得をめざす。
なお、本授業は、半期セメスターでの2単位授業(15回授業)として実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

教員として必要な基礎的資質を養う。
プレゼンテーションやフィールドワーク、コミュニケーションなどの技術・能力を養う。
教育や学校に限定されない、幅広い見識を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の各分野の科目について、本科目との並行履修も含め、計画的に履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	本授業では、たとえば国際理解、平和に関する課題、人口問題、食糧問題、環境問題、	少子・高齢化社会における社会福祉や人権問題および地域社会や家庭のあり方をめぐる問題、
	等々のうちから、いくつかのテーマを取り上げ、文献研究、フィールドワーク、グループ研究、	ディスカッション等を組み入れながら、テーマ理解をいっそう深めていくとともに、
	教師としての力量を形成していく。また、これらのテーマについて生徒に教授できる	実践的能力の修得をもめざす。詳細な授業の流れや実際の授業の方法については、
	開講時に各クラス担当者から説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

出席状況や発表・討論への参加、授業内レポート等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教職課程におけるゼミナールに相当する科目であり、また教員免許状取得のための必修科目でもあるので、積極的で責任ある参加を求める。

教科書 / Textbooks

特に指定しないが、必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業の中で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

適宜紹介する。

その他 / Others

(教)初等教育実習I (SA)

14604

担当者名 / Instructor 伊藤 隆司

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「初等教育実習」は、実習年度に実施される直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っている。
必要な手続きを行い、そのすべてを履修しなければならない。

到達目標 / Attainment Objectives

教育実践に必要な知識・技能を体験的に理解・習得する。
児童・学校についての理解を深める。
教師としての資質向上に関する課題意識を育てる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教育実習」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。詳細は産業社会学部履修要項の「子ども社会専攻学生の小学校一種免許状の取得について」のページを参照のこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	教育実習直前ガイダンス	
2	実習校(立命館小学校)における教育実習(2週間)	
3	教育実習事後指導	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	直前ガイダンス、事後指導ならびに、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

「初等教育実習の手引き」立命館大学産業社会学部小学校教員養成課程

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

受講登録にあたっては、2回生時に各自が受講した「初等教育実習の研究A」と同一クラス(SA・SB・SCのいずれか)を登録すること。
直前ガイダンス・事後指導の内容や日程等については、後日発表するので、PSTルームからの連絡や掲示に十分注意すること。

(教)初等教育実習I (SB)

14605

担当者名 / Instructor 大谷 いづみ

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「初等教育実習」は、実習年度に実施される直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っている。
必要な手続きを行い、そのすべてを履修しなければならない。

到達目標 / Attainment Objectives

教育実践に必要な知識・技能を体験的に理解・習得する。
児童・学校についての理解を深める。
教師としての資質向上に関する課題意識を育てる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教育実習」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。詳細は産業社会学部履修要項の「子ども社会専攻学生の小学校一種免許状の取得について」のページを参照のこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	教育実習直前ガイダンス	
2	実習校(立命館小学校)における教育実習(2週間)	
3	教育実習事後指導	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	直前ガイダンス、事後指導ならびに、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

「初等教育実習の手引き」立命館大学産業社会学部小学校教員養成課程

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

受講登録にあたっては、2回生時に各自が受講した「初等教育実習の研究A」と同一クラス(SA・SB・SCのいずれか)を登録すること。
直前ガイダンス・事後指導の内容や日程等については、後日発表するので、PSTルームからの連絡や掲示に十分注意すること。

(教)初等教育実習I(SC)

14606

担当者名 / Instructor 山下 芳樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「初等教育実習」は、実習年度に実施される直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っている。
必要な手続きを行い、そのすべてを履修しなければならない。

到達目標 / Attainment Objectives

教育実践に必要な知識・技能を体験的に理解・習得する。
児童・学校についての理解を深める。
教師としての資質向上に関する課題意識を育てる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「教育実習」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。詳細は産業社会学部履修要項の「子ども社会専攻学生の小学校一種免許状の取得について」のページを参照のこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	教育実習直前ガイダンス	
2	実習校(立命館小学校)における教育実習(2週間)	
3	教育実習事後指導	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	直前ガイダンス、事後指導ならびに、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

「初等教育実習の手引き」立命館大学産業社会学部小学校教員養成課程

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

受講登録にあたっては、2回生時に各自が受講した「初等教育実習の研究A」と同一クラス(SA・SB・SCのいずれか)を登録すること。
直前ガイダンス・事後指導の内容や日程等については、後日発表するので、PSTルームからの連絡や掲示に十分注意すること。

(教)初等教育実習の研究A (SA)

11693

担当者名 / Instructor 石田 智巳

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

本授業の履修対象者は、産業社会学部子ども社会専攻の学生で、小学校にて教育実習を行う学生である。
内容は小学校での教育実習の事前指導に位置付くものである。内容は、立命館小学校授業観察や、授業づくり、指導案の書き方などで構成される。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・教育実習の意義と内容が理解でき、心構えができる。
- ・立命館小学校の取り組みについて理解でき、教育実習に必要な知識、理解を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

他の初等教職の科目、とりわけ、教育実習受講条件として実習前年度中に単位修得する必要がある科目を中心に履修しておくことが望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
10月7日	ガイダンス (以31)	教育実習の全体像と『初等教育実習の手引き』について
10月14日	教育実習について (以31)	実習生の一日、実習簿の書き方、上回生との経験交流
10月21日	立命館小学校教育実習について (以31)	立命館小学校関係者の講話
11月25日	立命館小学校教育実習について	立命館小学校の授業観察
11月25日	立命館小学校教育実習について	立命館小学校の授業観察
12月2日	授業づくり (以31)	指導案、展開、板書など(立命館小学校教諭による講義)
12月16日	授業づくり	e黒板を使って授業をつくる
1月13日	教育実習について (以31)	実習に望む心構え

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

教育実習受講に際しての事前指導科目であるので、真摯で責任ある態度で臨むこと。また、日頃より新聞報道や書物講読等を通して、教育をめぐる社会動向やトピックに常に関心を向け、理解しておくこと。さらに、実習教科に関する指導法や教科専門性を養うため、いわゆる指導法系科目や「教科に関する科目」の履修を通して研鑽に努めること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席とレポート等で総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

第3回～第6回の立命館小学校関係の講義については、『まるごと立命館小学校メソッド！ 発見・創造、基礎基本』（学事出版 2009）を使用する。購入手続き等は第1回講義時に指示する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

10月7日のガイダンス時に、欠席・遅刻等を含め、詳細な連絡を行うので欠席のないように。
様々な連絡は、小学校教員養成課程サポートセンターを通じて行うのでメール及び掲示等には十分に注意すること。

(教)初等教育実習の研究A (SB)

11694

担当者名 / Instructor 笹野 恵理子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

本授業の履修対象者は、産業社会学部子ども社会専攻の学生で、小学校にて教育実習を行う学生である。
内容は小学校での教育実習の事前指導に位置付くものである。内容は、立命館小学校授業観察や、授業づくり、指導案の書き方などで構成される。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・教育実習の意義と内容が理解でき、心構えができる。
- ・立命館小学校の取り組みについて理解でき、教育実習に必要な知識、理解を獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

他の初等教職の科目、とりわけ、教育実習受講条件として実習前年度中に単位修得する必要がある科目を中心に履修しておくことが望まれる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
10月7日	ガイダンス (以31)	教育実習の全体像と『初等教育実習の手引き』について
10月14日	教育実習について (以31)	実習生の一日、実習簿の書き方、上回生との経験交流
10月21日	立命館小学校教育実習について (以31)	立命館小学校関係者の講話
11月25日	立命館小学校教育実習について	立命館小学校の授業観察
11月25日	立命館小学校教育実習について	立命館小学校の授業観察
12月2日	授業づくり (以31)	指導案、展開、板書など(立命館小学校教諭による講義)
12月16日	授業づくり	e黒板を使って授業をつくる。
1月13日	教育実習について (以31)	実習に望む心構え

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

教育実習受講に際しての事前指導科目であるので、真摯で責任ある態度で臨むこと。また、日頃より新聞報道や書物講読等を通して、教育をめぐる社会動向やトピックに常に関心を向け、理解しておくこと。さらに、実習教科に関する指導法や教科専門性を養うため、いわゆる指導法系科目や「教科に関する科目」の履修を通して研鑽に努めること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席とレポート等で総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

第3回～第6回の立命館小学校関係の講義については、『まるごと立命館小学校メソッド！ 発見・創造、基礎基本』（学事出版 2009）を使用する。購入手続き等は第1回講義時に指示する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

10月7日のガイダンス時に、欠席・遅刻等を含め、詳細な連絡を行うので欠席のないように。
様々な連絡は、小学校教員養成課程サポートセンターを通じて行うのでメール及び掲示等には十分に注意すること。